

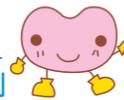
地域に広がる福祉教育

福祉教育プロジェクトチームの取り組み

社会福祉協議会について

社会福祉協議会は、誰もが安心して暮らすことのできる昭和区のため、住民のみなさんと一緒に福祉活動を計画し、実施していく民間の団体です。

マスコットキャラクター「こころん」



あたたかい心で福祉のタネをまく
イメージから生まれました。



福祉教育プロジェクトチーム
昭和三区内で福祉教育に関わる人材の確保やネットワーク作りをすすめるながら、学校や地域に福祉教育を広める取り組みを行い、地域の中での支えあいの風土づくりを目指しています。

河合さんは実行委員の一人として、1年がかりでセミナーの準備にあたりました。その中で子どもたちの福祉意識を養うには、まず教える側で

福祉教育プロジェクトチームによる『平成21年度福祉教育セミナー』が、2月26日(金)午後3時から、社協の2階研修室で開催されました。このセミナーは、児童・生徒への福祉の理解を推進するため、おもに学校における福祉教育に携わる人を対象にしたものです。今回は昭和区内の小学校・中学校・高校の教職員代表を中心に、福祉施設関係者、福祉学習サポーターなど約20名が参加しました。

当日は日本福祉大学准教授で、地域福祉活動計画の副策定委員長も務めた原田正樹先生を講師にお招きして『共に生きること 共に学びあうこと』と題して講義を行いました。

先生の意識を高め福祉教育に役立てる



ある先生方の福祉意識を高めることが重要と考え、企画を進めました。

教育と福祉を結ぶ福祉教育セミナー

昨年、策定した「第2次昭和区社会福祉協議会地域福祉活動計画(以下、地域福祉活動計画)」に基づき、さまざまなプロジェクトチームが「誰もが支え合える昭和区づくり」を目指して具体的な活動を開始しています。今回は、福祉教育プロジェクトチームのメンバーである桜花学園教諭の河合保昌さんに、2月26日(金)に開催された「福祉教育セミナー」の報告と、河合さんが顧問を務める桜花学園インターアクトクラブの活動を聞きました。

福祉の種を蒔くことが大きく広がる第一歩



学校での福祉教育は、ともすれば辛く、大変で、かわいそうなことだと教えがちです。しかし「福祉はネガティブなだけで

「原田先生には学問的な内容ではなく、実体験を交えた、現場感覚あふれる話しをしていただきました」と、河合さん。

「原田先生には学問的な内容ではなく、実体験を交えた、現場感覚あふれる話しをしていただきました」と、河合さん。

～月日はこれでも流れて 1年後...成長しました～

1. 当たり前だけど、電話というものは、沈黙。いきなりです。

2. だけ電話がかかってくると、いきなり何ごと??

3. 鳴り止まない切り返し覚えた? 何かに合わせた母の手

4. 事情を知らない電話の相手様は、さぞかし何だこの家は無言でぐちゃぐちゃ

母だて負けてはいません。

わたし母の勝!

何コレかくりかえして

どなたが先か争ち戦、です。

あれっ、母の勝ち、

何だこの家は無言でぐちゃぐちゃ

No. 4 テレフォンコール事情

みかちゃんの ゴーイングマイウェイ

画: 琴子

作者しようかい●琴子:成人になってからアスペルガー症候群(自閉症の傾向はあるが知的障害を伴わない)の診断を受ける。みかちゃんは自分の分身。



河合保昌さん 桜花学園教諭
第2次昭和三和区協地域福祉活動計画
「福祉教育プロジェクトチーム」メンバー
桜花学園インターアクトクラブ顧問

はないはず。かわいそう、という発想を超える必要があると思います」と、原田先生は訴えます。

「障がい者や高齢者に何かしてあげる」という意識。それでいいのでしょうか？」と、原田先生は問いかけます。もちろん、正解は一つではありません。そんな中でも「一人ひとりが、福祉への考え方について、考えるきっかけにしたいだけだと思えます」と、河合さんは言っています。

「学校全体で福祉教育をしても、意識の差があり、うまくいくとは限りません」と、河合さんは言います。「種を蒔かなければ芽は出ない。このセミナーは、種蒔きのようなものであります」。セミナーを通して

「学校全体で福祉教育をしても、意識の差があり、うまくいくとは限りません」と、河合さんは言います。「種を蒔かなければ芽は出ない。このセミナーは、種蒔きのようなものであります」。セミナーを通して

「学校全体で福祉教育をしても、意識の差があり、うまくいくとは限りません」と、河合さんは言います。「種を蒔かなければ芽は出ない。このセミナーは、種蒔きのようなものであります」。セミナーを通して

「障がい者や高齢者に何かしてあげる」という意識。それでいいのでしょうか？」と、原田先生は問いかけます。もちろん、正解は一つではありません。そんな中でも「一人ひとりが、福祉への考え方について、考えるきっかけにしたいだけだと思えます」と、河合さんは言っています。

福祉教育セミナー 参加者の声

AJU自立の家
わだちコンピュターハウス
三好宏和さん



学校の先生は教育のプロですが、福祉のプロではありません。今回、参加された先生たちにも、福祉に関わる人が地域にたくさんいると感じてもらえたのでは。福祉教育で大切なことは、地域で福祉に関わる人たちと連携を取ること。先生がそれを理解され、行動につながる機会を作る良いセミナーでした。

けあほーむまりん
森智美さん



原田先生の講義では「慰問ではなく訪問」という言葉が印象に残りました。いろいろな業種の方がそれぞれの役割で、地域に密着して福祉に関わる良い機会となりました。グループワークで一緒に過ごした方に、マジックのボランティアをお願いでき、利用者さんから好評です。

高校生が福祉の現場で活躍中！ 桜花学園インターアクトクラブ

社会奉仕を目的にした
高校生サークル



インターアクトクラブとは、ロータリークラブが青少年育成のために『社会奉仕』『国際理解』『国際交流』を理念に提唱したクラブです。愛知県では16校にあり、桜花学園では平成7年の阪神淡路大震災を契機に結成され、現在、40名ほどの部員が在籍しています。河合さんは結成当時の顧問で「今年で15年目になります。理念の一つ『社会奉仕』に特化して活動を行っています」と、言います。

自ら行動する自主性を
ボランティア活動で磨く



河合さんのモットーは『生徒主体』。河合さん自身は、生徒が自分で考え、行動するためのサポート役に徹しています。「例えば、昭和三和区の福祉まつりでは生徒自身が実行委員会に出席します。大人にまじり、生徒が自ら考え、行動するようにしていきます」と、河合さん。その中で「生徒に自主性」とリーダーシップが養われるなど、教育的にも大きな意味がありますね。

活動は、老人福祉施設や保育園への訪問や、昭和三和区の福祉まつり、昭和三和区グリーンマップなどの地域イベントの参加協力など、幅広いボランティア活動を行っています。オリジナル企画のウォーキングイベント「恋の三社めぐり」は、JR東海のさわやかウォーキングにも採用されました。

「ボランティアとは、人と人との交わりです。ボランティアが、福祉の意識を高め、将来の大きな財産となることを期待しています」と、河合さんは笑います。



大評判のウォーキングイベント「恋の三社めぐり」



第27回昭和三和区の福祉まつりにて



桜花学園インターアクトクラブの活動をまとめた冊子「歩み」



福祉施設でのミュージックペル演奏&手話



小栗皮ふ科 医学博士 小栗貴美子さん

「肌のかさつきを防ぐことが大切です」

適切なスキンケアで かゆみを和らげることが可能です



専門家に聞く 健康長寿のための習慣

長寿大国と言われる日本ですが、いくら長生きしても健康でなければ人生を楽しむことはできません。健康を保つためには毎日の生活習慣に留意することが大切です。その秘訣を各分野の専門家に聞きます。

年齢を重ねると肌を保護する皮脂膜が薄くなり、皮膚の機能が低下します。皮膚のあぶら分と発汗が少なくなると、体にかゆみを感じるものが多くなります。かゆみの原因は湿疹などの皮膚病や糖尿病などのほか、薬や食べ物などの影響などが考えられます。このような原因がなく、かゆみを伴う場合は老人性皮膚掻痒症(そうよう)症を疑った方がいいですね。

老人性皮膚掻痒症の原因は、加齢による肌のかさつき(ドライスキン)が大きく関係しますが、

生活習慣が原因することもあります。暖房などによる乾燥した環境は、ドライスキンの一因になります。これらの原因を取り除き、適切なスキンケアをすればかゆみは和らげることが可能です。入浴のしすぎは良くありませんが、風呂に入らないことはもつと良くありません。できれば1日1回の入浴が望ましいと思います。

熱い風呂に長く入らないこと、また石けんでごしごしと体を洗わないことも大切です。浴用タオルは、綿や麻素材のものを洗わないこと、もし、かゆいところをかき過ぎて湿疹になってしまったら、早めに医師の診断を受けましょう。自分に合った治療法が見つかります。

年齢を重ねると肌を保護する皮脂膜が薄くなり、皮膚の機能が低下します。皮膚のあぶら分と発汗が少なくなると、体にかゆみを感じるものが多くなります。かゆみの原因は湿疹などの皮膚病や糖尿病などのほか、薬や食べ物などの影響などが考えられます。このような原因がなく、かゆみを伴う場合は老人性皮膚掻痒症(そうよう)症を疑った方がいいですね。

生活習慣が原因することもあります。暖房などによる乾燥した環境は、ドライスキンの一因になります。これらの原因を取り除き、適切なスキンケアをすればかゆみは和らげることが可能です。入浴のしすぎは良くありませんが、風呂に入らないことはもつと良くありません。できれば1日1回の入浴が望ましいと思います。

熱い風呂に長く入らないこと、また石けんでごしごしと体を洗わないことも大切です。浴用タオルは、綿や麻素材のものを洗わないこと、もし、かゆいところをかき過ぎて湿疹になってしまったら、早めに医師の診断を受けましょう。自分に合った治療法が見つかります。

熱い風呂に長く入らないこと、また石けんでごしごしと体を洗わないことも大切です。浴用タオルは、綿や麻素材のものを洗わないこと、もし、かゆいところをかき過ぎて湿疹になってしまったら、早めに医師の診断を受けましょう。自分に合った治療法が見つかります。

自らの力で生きていくために

障がい者のノーマライゼーション

発達障がいの人へのサポートと社会的な認知を広める

発達障害者支援センターは、平成17年4月に施行された発達障害者支援法(※)に基づき設置された施設で、各都道府県や政令指定都市に74施設あります。名古屋市発達障害者支援センター(以下、りんくす名古屋)は平成18年に開所し、今年5月に現地へ移転しました。

人とコミュニケーションが取れない。集中が長続きしない。アスペルガー症候群や注意欠陥多動性障がいや学習障がいなどの発達障がいは「障がいが目に見えにくい」ことから、社



職員の後藤沙織さん

「発達障がいの症状は十人十色。一人ひとりの

障がい者健常者の区別なく、自分が望むような生活をおくることのできる社会。そのためのノーマライゼーションについて広く考えていきましょう。

発達障がいの人へのサポートと社会的な認知を広める

発達障害者支援センターは、平成17年4月に施行された発達障害者支援法(※)に基づき設置された施設で、各都道府県や政令指定都市に74施設あります。名古屋市発達障害者支援センター(以下、りんくす名古屋)は平成18年に開所し、今年5月に現地へ移転しました。

人とコミュニケーションが取れない。集中が長続きしない。アスペルガー症候群や注意欠陥多動性障がいや学習障がいなどの発達障がいは「障がいが目に見えにくい」ことから、社

「発達障がいの人に住みよいまちは、誰もが住みよいまちです。それには、まずお互いを理解することか



りんくす名古屋
TEL: 757-6140 FAX: 757-6141
場所: 昭和区折戸町4-16
E-Mail: links@kodomoseisho-nen.city.nagoya.lg.jp
【電話相談】
上記の電話・FAX・メールアドレスに名前、住所、電話番号、相談内容をお書きのうえお申し込みください。
開催日は毎週月曜～金曜日の8:45～17:15(土・日・祝日休み)です

話をくわしく聞いた上で適切な対応を考える必要があります。1年間で、延べ3000件ほどの相談を受けました。場合によっては面接相談したり、ほかの専門機関と連携して支援をすることもあります。

「発達障がいの人に住みよいまちは、誰もが住みよいまちです。それには、まずお互いを理解することか

「発達障がいの人に住みよいまちは、誰もが住みよいまちです。それには、まずお互いを理解することか

子育てママとパパの味方

こどもの、みいつけた!

子どもと一緒に楽しむ、そして何よりママたちが笑顔でいられるように。そんな子育てサークルや子育てサロン、お役立ち情報を紹介していきます。

Vol.7 子育てを地域でサポート 「名古屋のびのび子育てサポート事業 昭和支部」

第2子出産時に上の子の保育園の送迎どうしよう…。上の子の授業参観に行きたいけど下の子いるし…。そんなときに相談できるのが、「名古屋のびのび子育てサポート事業」(以下「のびサポ」)です。

のびサポは、子育ての手助けをしてほしい方(依頼会員)に、子育てのお手伝いをしたい方(提供会員)を紹介し、会員同士で一時的に子育ての援助をする事業です。費用は平日1時間800円。

昭和支部は2008年10月に地域子育て支援センター『いりなかみんなの家』に開設され、



左から「いりなかみんなの家」保育士の青山さん、のびサポ事業昭和支部アドバイザーの木戸さん、保育士の山本さん

市内8支部のうちの1つとなっています。

現在、昭和区では依頼会員が266人、提供会員が46人、両方会員が22人登録。「昔のご近所付き合いの延長線上にある、子育ての助け合い事業です。他支部とも連携してほとんどの依頼に対応できています。こんなこと頼めるかしら?と気軽にお立ち寄りください」とアドバイザーの木戸さんは言います。

また、支部のある『いりなかみんなの家』では、いりなか保育園保育士による親子広場や、



会員交流会では、会員同士なごやかにしゃべりが続きます。子どもの一時保育なども行っています。「子育ての悩みごとなど、気軽に相談してください」(保育士の山本さん)

「名古屋のびのび子育てサポート事業 昭和支部」

場所: 昭和区八事本町31-4(地域子育て支援センター「いりなかみんなの家」内)
開設時間: 午前9時～午後7時(土曜午前9時～午後3時)
休日: 日曜・祝日・年末年始
運営: 社会福祉法人人中福祉会いりなか保育園
TEL・FAX: 908-9093
●会員登録は随時受付(提供会員は講習会の受講が必要)。詳しくは直接お問い合わせください。

地域包括支援センターからのお知らせ

地域包括支援センターでは、認知症の高齢者を介護している家族の方を対象に、様々な事業を行っています。(無料・要予約)

■認知症家族教室

専門家による認知症の知識、介護方法、介護保険等について学ぶことができます。

- 開催時期：4月～9月
- 西部地域包括支援センター 第4木曜日 (9月については第5木曜日)
- 東部地域包括支援センター 第4水曜日
- 時間：13:30～15:30

■認知症家族サロン

介護している方向士で介護についての悩みを話したり、情報交換できる場です。

- 開催日：毎月1回
- 西部地域包括支援センター 第2水曜日
- 東部地域包括支援センター 第3木曜日
- 時間：13:30～15:30

■問合先 (営業日時：月～金曜日 (祝祭日休み) 午前9時～午後5時)

- 御器所・松栄・白金・鶴舞・吹上・村雲学区にお住まいの方
昭和区西部地域包括支援センター
昭和区御器所3-18-1 昭和区社会福祉協議会 電話：884-5513 FAX：883-2231
- 伊勝・川原・滝川・広路・八事学区にお住まいの方
昭和区東部地域包括支援センター
昭和区滝川町33 いりなかスクエア3階 電話：861-9335 FAX：861-9336

■医師の専門相談

もの忘れ相談医に個別で認知症に関する相談ができます。

- 開催日：毎月1回
- 西部地域包括支援センター 第2水曜日
- 東部地域包括支援センター 第3木曜日
- 時間：13:30～15:00 (1回30分程度 要予約)

■認知症サポーター養成講座

地域の方(住民・団体・会社など)に、認知症を正しく理解していただくために出前講座を行います。

- 講師：地域包括支援センター職員
- 出前範囲：昭和区内
- 所要時間：1時間～1時間30分

賛助会員募集中!!

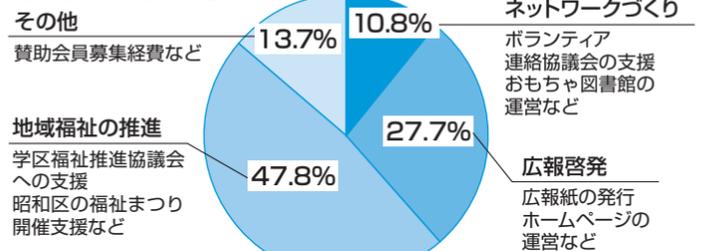
あなたも「地域福祉のサポーター」に

昭和区社会福祉協議会は、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざして、地域の皆様からご協力いただく賛助会費、共同募金、その他寄付金や名古屋市福祉基金からの助成金などを財源として、地域福祉活動を推進しています。

社会福祉協議会の活動をご理解いただき、趣旨にご賛同いただける方は、ぜひ賛助会員になってご支援ください。

会費額	平成21年度実績	3,805,000円
個人会員	1口 1,000円(年額)	個人会員 1,451件 2,255口
法人・団体会員	1口 10,000円(年額)	法人・団体会員 134件 155口

賛助会費のつかいみち



<お詫び> 先日「賛助会費の振込用紙が郵便局のATM機械で読み取れなくて、改めて窓口で手続きをした」というお話を伺いました。振込用紙の口座番号の印刷の不具合が原因でした。ご迷惑をおかけし大変申し訳ありませんでした。深くお詫び申し上げます。

投稿王国 短歌「水」

カラッとした暑さに、涼しさを提供する「水」。過ごしやすい夏だといいですね。投稿ありがとうございます！

堀川を
流れ続けて
四百年
水に聞きたい
何を見てきた

△真紀子さん▽

幼子が
にこやかに赤き
ジョウロ持ち
虹がきらめく
庭の水まき

△清子さん▽

募集&プレゼント

次号の投稿内容は、「短歌・月」です。テーマに沿った短歌を詠んでいただき、住所・氏名・年齢・電話番号をお書き添えの上、8月末日までに昭和区社会福祉協議会までお送りください。採用された方に、図書カードを差し上げます。応募先は右下の問合せ先をご覧ください。お待ちしております。

講座・案内

福祉推進を目的とした各種イベント、行事、講座等(原則無料のもの)を紹介します。

第28回昭和区の福祉まつり

【シンポジウム】

- 日 時：6月27日(日) 午後1時～4時
- 場 所：名古屋柳城短期大学体育館
- テーマ：「子どものいる風景～子育て環境と地域の役割」

【前日祭(映画会)】

- 日 時：8月7日(土) 午後2時～4時
- 場 所：昭和区役所講堂
- 上映映画：「風のひびき」、「こころに咲く花」

【福祉まつり】

- 日 時：8月8日(日) 午前10時～午後3時30分
- 場 所：昭和区役所講堂 他
- 主 催：昭和区の福祉まつり実行委員会
- 問合せ先：昭和区社会福祉協議会 TEL:884-5511 FAX:883-2231

講座参加者募集中! ハンドトリートメント(マッサージ)ボランティア

ベガサス会では介護に従事する方々にハンドトリートメントをするボランティアをしています。ハンドトリートメントとは、肘から指先までゆっくりとマッサージするもの。2～3回の講座で基本を学んだら誰でも簡単にボランティアができます。講座随時開催中です!

ボランティア募集中! わかくさ学園 兄弟保育ボランティア

肢体不自由児施設へ通園中の園児の兄弟保育ボランティア(乳児のベビーシッター)を募集しています。

- 活動場所：名古屋市児童福祉センター内 名古屋市わかくさ学園
- 活動時間：月、水曜日の午前10時～午後0時45分
- 問合せ先：名古屋市わかくさ学園 TEL:757-6111

寄付

次の方々より本会へご寄付いただきました。寄付金は昭和区の社会福祉の推進に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

- 愛知県勤労会館親睦会様
 - 昭和警察署親睦会
 - 匿名様 2件
- ハックション! 花粉症? でも、くしゃみ止まるころにはもう夏かな。 Y.A
- 今号から「こころねっ」の担当になりました。昭和区を盛り上げるよーりガンバリます! Y.K
- 福祉教育で種を蒔き、やがて芽が出て、こどもたちの成長と共に心の花が咲きますように。 H.K

編集後記

玉腰先生の **ココロまんぷく** お料理レシピ vol.14

手軽につくれて栄養いっぱいのお料理をご紹介します!

免疫力アップの具だくさんスープカレー

基礎体温が1℃上がると、免疫力が約30%アップすると言われています。ショウガやカレー粉などの体温を上げる食材と、シイタケ類、玉ネギ、ニンニク、トマトなどの免疫力アップの食材を使った具だくさんのスープです!

【材料 4人分】

水	900ml	キャベツ	3～4枚
市販の固形カレー	2～3個(※)	プチトマト	8個
玉ネギ(中)	1個	しめじ	1/2パック
塩・コショウ	適量	ベーコン	2～3枚
		ショウガ	1かけ
		ニンニク	1かけ

※より本格的な味を楽しみたいなら、カレー粉大さじ2～3杯と固形コンソメ2個、好みによって、クミンやガラムマサラなどのスパイス類を使用。コク出して牛乳やバターを入れてもよい。

【作り方】

- 野菜、ベーコンは食べやすい大きさに切り、ショウガ、ニンニクはすりおろす。プチトマトは半分にカット。
- 鍋で玉ネギをしんなりするまでよく炒め、水を入れてAの材料を入れてやわらかくなるまで煮込む。
- 固形カレーを入れ、塩・コショウで味付けてできあがり。

Lea Lea Hale 玉腰明子 (管理栄養士)

「こころねっ」第14号はいかがでしたか?

「こころねっ」へのご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。また、目の不自由な方へ、この情報紙「こころねっ」を録音したカセットテープの貸し出しを行っています(無料)。ご希望の方はご連絡ください。講座案内の掲載についてもお問合せください。

社会福祉法人名古屋市昭和区社会福祉協議会

問合せ先: 〒466-0051 名古屋市昭和区御器所三丁目18番1号 TEL:052-884-5511 FAX:052-883-2231 E-mail: fukushi@showaku-shakyo.jp

交通のご案内: 地下鉄: 鶴舞線「荒畑」駅4番出口から徒歩5分 市バス: 栄20系統「荒畑」下車

<http://www.showaku-shakyo.jp>